

「みどりの食料システム法」においては、2030年までに化学肥料の使用量を20%低減、2050年までに30%低減が目標となっています。近年は世界情勢の変動等により、多くの化学肥料原料の高騰が問題となっており輸入にたよる日本にとって、地域資源の有効利用は大きな課題です。

こうした中、豚ふんを活用して肥料の低コスト化と安定供給を目指した堆肥ペレット製造の取組が、(有)大西海ファーム(長崎県堆肥利活用推進協議会)で始まっています。

現在は、通常の配合肥料に準じた取り扱いができる堆肥ペレット入り配合肥料による栽培試験(レタス、ブロッコリー、バレイショ、たまねぎ等)を実施しています。

今後は、より安価な肥料供給に向け、堆肥ペレット製造時に硫安等を混入する硫安等混合堆肥ペレットの製造を目指すこととなっています。

この取組は、低コストで安定的な肥料の確保に合わせ化学肥料の使用量低減にも大きな役割を持っているものと期待しています。



堆肥ペレット

## 熱中症に注意しましょう!

### 1. 高温多湿の環境を避けましょう!

- 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょう。
- 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう。
- 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり、断熱材を活用しましょう。



### 2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

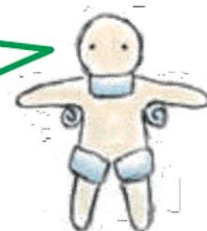
- のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1~2杯以上を目安に水分補給しましょう。
- 足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1~0.2%程度の食塩水(1Lの水に1~2gの食塩)、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう。



### 3. 応急処置を行いましょう!

- 涼しい環境へ避難しましょう。
- 服をゆるめて風通しをよくしましょう。
- 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう。
- 水分・塩分を補給しましょう。

脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的です



※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。

※休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう。